

平成31年度国立大学開設予定学部等一覧

平成30年8月

1. 学部の設置 2校

区分	No	大学名	学部・学科等名	入学定員	位置	設置者	附帯事項	備考
国立	1	室蘭工業大学	理工学部	人	北海道室蘭市	国立大学法人 室蘭工業大学	養成する人材像とディプロマ・ポリシーの「強靱性」について、強くしてしなやかという通常の意味とは異なる意味で用いている。学生や社会一般に誤解を与えないよう、本学の考える「強靱性」の内容について、学生募集時や広報活動の際に十分周知すること。	遵守事項
			創造工学科昼間コース (3年次編入学定員)	325 25				
			創造工学科夜間主コース	40				遵守事項
			システム理化学科 (3年次編入学定員)	235 15			シラバスにアクティブラーニングについて記述する欄を設けているが、例えば予習・復習など、アクティブラーニングではない内容が記述されている。シラバスにおける記述として適切ではないため、アクティブラーニングを行わない科目における記述を削除すること。	助言事項
							「情報セキュリティ入門」については、情報セキュリティの基礎となる考え方を理解するとともに、インターネットやパソコンの安全な利用方法を習得させるとしているが、「安全な利用方法」の習得は利用者側の観点に立った内容(情報リテラシー)となっている。「情報セキュリティ」という名称の科目であれば、OS、ソフトウェア及びネットワークなどのセキュアな構成技術やマルウェア対策などの内容を加えることが望ましい。	助言事項
							学科名称で使われている「システム」と、コース名称で使われている「システム」について、異なる意味で用いられているため、学生に誤解を与えないよう、学科名称、コース名称の「システム」のそれぞれの意味について、学生募集時に十分周知することが望ましい。(システム理化学科)	
	2	福島大学	農学群 食農学類	100	福島県福島市	国立大学法人 福島大学	特になし。	人文社会学群 (Δ30) 人間発達文化学類 (Δ25) 行政政策学類 (Δ25) 経済経営学類 (Δ25) 理工学群 共生システム理工学類 (Δ20)

2. 研究科の設置 4校

区分	No	大学院名	研究科・専攻等名	入学定員	位置	設置者	附帯事項	備考
国立	1	岩手大学大学院	理工学研究科 自然・応用科学専攻(D) システム創成工学専攻(D) デザイン・メディア工学専攻(D)	人 6 9 3	岩手県盛岡市	国立大学法人 岩手大学	専攻分野の決定は、出願前に研究分野担当教員と事前に面談を行って決定することとしているが、留学生など、出願前に面談ができない場合の対応が不明確であるため、学生募集時に十分周知すること。	遵守事項 工学研究科（博士課程）【廃止】 フロンティア物質機能工学専攻（D）（△9） 電気電子・情報システム工学専攻（D）（△4） 機械・社会環境システム工学専攻（D）（△4） デザイン・メディア工学専攻（D）（△3） ※平成31年4月学生募集停止 ※大学院設置基準第14条特例の実施
	2	宇都宮大学大学院	地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻(M) 工農総合科学専攻(M)	77 258	栃木県宇都宮市	国立大学法人 宇都宮大学	<p>新たな研究科設置の趣旨・目的に掲げている「融合・連携」の実現に向けて、以下の点を踏まえ、設置計画を着実に履行すること。 (1) 学生からの相談窓口として、新たに配置するコーディネーターや研究アドバイザーのそれぞれの役割及び実施体制を明確に学生に示すとともに、修士論文を課さない場合のコースワークでも同様の取組が生かされるよう配慮し、幅広い学生からの相談に組織的に対応が可能な体制を充実させること。 (2) 主指導教員、副指導教員の実質的な協力の下、例えばシラバスにおいても「融合・連携」の趣旨を適切に周知するとともに、大学が実施する研究活動を含めて、本研究科が目指す「融合・連携」の強化に努めること。</p> <p>本研究科が想定する「地域」は、一般的に用いられる「地域」の定義と異なることが想定されるため、「安定的な生活が行われている場合の日常生活を行う上で、様々な生活資源が確保される生活空間」ではなく、可変的なものとして捉えることの意義についても、社会や入学者に誤解のないよう適切に周知することが望ましい。 (社会デザイン科学専攻)</p> <p>本研究科に16学位プログラムを構成する前提となっている課題のうち、「オプトバイオのイノベーション創造」については、単に大学の強み・特長と説明するのではなく、目指すべきものを具体的に社会・学生に対して誤解がないよう周知すること。</p> <p>シラバス等について、以下の点を踏まえ適切に修正の上、設置計画を着実に履行すること。 (1) 「生涯発達支援論」、「人間発達支援方法論」、「社会的思考支援論」については、シラバスの授業計画においても、大学院レベルの質保証が図られていることを明確にすること。 (2) 新たに開設する計画とした「農業・農村経済学」について、設置の趣旨・目的、到達目標を踏まえれば、経済学分野の基礎的な内容を充実するとともに、その内容をシラバスにおいて明記すること。 (3) グローバル・エリアスタディーズプログラムについて、特に国名を冠した科目は、プログラムの目的に掲げる、グローバルな観点から社会をデザインする能力を育成するのにふさわしい幅広い知識等を授けることを、シラバスにおいても学生に誤解のないよう周知すること。(社会デザイン科学専攻)</p> <p>「アカデミックコミュニケーション」について、科目開設の目的・趣旨に掲げている、「専門領域に関連する境界・学際領域の専門知識・技術と実践力の高いコミュニケーション能力」を学生が身に付けられるよう履修指導体制を充実することが望ましい。(社会デザイン科学専攻)</p>	<p>遵守事項 国際学研究科（博士前期課程）【廃止】 国際社会研究専攻（M）（△10） 国際文化研究専攻（M）（△10） 国際交流研究専攻（M）（△10） 教育学研究科（修士課程）【廃止】 学校教育専攻（M）（△25） 工学研究科（博士前期課程）【廃止】 機械知能工学専攻（M）（△37） 電気電子システム工学専攻（M）（△37） 物質環境化学専攻（M）（△42） 地球環境デザイン学専攻（M）（△33） 情報システム科学専攻（M）（△38） 先端光工学専攻（M）（△25） 農学研究科（修士課程）【廃止】 生物生産科学専攻（M）（△41） 農業環境工学専攻（M）（△12） 農業経済学専攻（M）（△8） 森林科学専攻（M）（△10） ※平成31年4月学生募集停止</p> <p>助言事項 教育学研究科（専門職学位課程） 教育実践高度化専攻（P）（+3） ※大学院設置基準第14条特例の実施</p> <p>遵守事項 遵守事項 助言事項</p>

区分	No	大学院名	研究科・専攻等名	入学定員	位置	設置者	附帯事項	備考	
		(宇都宮大学大学院)					<p>コミュニティデザイン学プログラムにおいて、「急速な社会の変容や多様化、複雑化する地域課題に対応するとともに、地域社会をより豊かで持続可能にするために求められるコミュニティデザインを実現する能力」を養成することを目的としているため、「共生社会論」や「農村社会学」を本プログラムにも必要な科目として位置付けるとともに、例えば、「地域社会学」や「都市社会学」に関連する科目を開設することや特任教員等を活用した教育体制の充実を図ることで設置計画を着実に履行すること。(社会デザイン科学専攻)</p> <p>修士論文を課さないコースワークについて、以下の点を踏まえ、設置計画を着実に履行すること。 (1) TA、チューターなどの教育活動の不確定要素をもって評価することや、既に単位認定している授業科目のGPAを評価項目に含めることについて、学位の質保証が担保されるよう努めること。 (2) 修了要件や評価体制、最終試問を含めた修了までのプロセスについて、学生に対して具体的な内容が理解されるよう確実に周知すること。 (3) 課題に対する研究成果や社会活動における社会的な受賞について、想定している研究成果や社会的な受賞の具体的な内容について、事前に学生に対して周知すること。(社会デザイン科学専攻)</p> <p>社会人学生の受入れに対応するため、教員は必要に応じて授業を週2回開講できることや研究や調査等の集約的な期間を自主的に設けることについて、学生の計画的な履修に支障がないよう入学者選抜等において、事前にまた適切に周知することが望ましい。(社会デザイン科学専攻)</p>	<p>遵守事項</p> <p>遵守事項</p> <p>助言事項</p>	
3	滋賀大学大学院	データサイエンス研究科 データサイエンス専攻(M)	20	滋賀県彦根市	国立大学法人 滋賀大学	<p>授業科目とディプロマ・ポリシーの関係において、ディプロマ・ポリシー(5)に対しては「各『実践論』と課題研究での実課題の演習が対応している」とされており、かつ講義科目と対となる位置付けであることに鑑み、これら「実践論」は演習科目として位置付けるか、若しくは対となっている講義科目と併せて一つの科目とすること。</p> <p>シラバスの記載において、「成績評価の方法・基準」の欄であるにもかかわらず、成績評価の方法のみで基準が示されていないことが散見されるため、評価の基準も明確にすること。</p> <p>プレマスタ教育で提供するe-learningによる教育が、入学後も必要に応じて受講できるようにし、入学前の学生にも周知することが望ましい。</p>	<p>遵守事項</p> <p>遵守事項</p> <p>助言事項</p>	<p>教育学研究科 学校教育専攻(M) (Δ10) 経済学研究科 経済学専攻(M) (Δ5) 経営学専攻(M) (Δ5)</p> <p>※大学院設置基準第14条特例の実施</p>	

区分	No	大 学 院 名	研究科・専攻等名	入学定員	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
国立	4	鳥取大学大学院	共同獣医学研究科 共同獣医学専攻(D)(4年制)	人 5	鳥取県鳥取市	国立大学法人 鳥取大学	<p>獣医学教育研究開発推進センターに、「高度獣医学教育コンソーシアム(案)」におけるオーガナイザー機能を持たせることについて、各構成校(帯広畜産大学、岩手大学、東京農工大学、山口大学、鹿児島大学)の了解を得ているとのことだが、引き続き、構成校との円滑な教育連携が推進されるよう、構成校に対する丁寧な説明を行うとともに、広く関係者の了解を得て進めていくことが望ましい。</p>	<p>助言事項</p> <p>※大学院設置基準第14条特例の実施 ※岐阜大学大学院との共同教育課程</p>

3. 研究科の専攻の設置又は課程変更 4校

区分	No	大学院名	研究科・専攻等名	入学定員	位置	設置者	附帯事項	備考
国立	1	北海道大学大学院	国際食資源学院 国際食資源学専攻(D)	人 6	北海道札幌市	国立大学法人 北海道大学	入学する学生が分かりやすいよう、本専攻における博士論文及び論文審査の英語の使用について、明確にすること。	<p>遵守事項</p> <p>農学院 共生基盤学専攻(D)【廃止】 (△8) 生物資源科学専攻(D)【廃止】 (△14) 応用生物科学専攻(D)【廃止】 (△6) 環境資源学専攻(D)【廃止】 (△14) 農学専攻(D) (+36)</p> <p>※平成31年4月学生募集停止 ※大学院設置基準第14条特例の実施</p>
	2	東京外国語大学大学院	総合国際学研究科 共同サステナビリティ研究専攻(D)	3	東京都府中市	国立大学法人 東京外国語大学	<p>本専攻が目指す「理解」、「分析」、「実装」という連動した研究教育の観点について、具体的に何を指すのか定義の上、イメージ図も含め誤解を与えないよう適切に社会や学生等に伝わるよう周知すること。</p> <p>設置の趣旨・目的等を踏まえた教育課程、教育方法、研究指導等の具体的な内容について、適切に社会や学生に対して周知することが望ましい。</p> <p>「学内実践実習」の受講要件として、「インターンシップの候補先の機関・企業に行けない社会人学生」としていることから、「学外実践実習」及び「学内実践実習」のそれぞれの履修対象者の要件を明確にするとともに、「学内実践実習」履修者の認定プロセスを含め学生に誤解のないようシラバス等で適切に周知することが望ましい。</p> <p>「学外実践実習」の到達目標に掲げる「実社会に通用する、普遍的かつ実践的知識を基盤とする国際的センス、国際通用性のある実践的理論・スキルやコミュニケーション力を向上させ、実践できる」能力については、「学内実践実習」においても担保されていることが明確になるよう、シラバスにおいて明記することが望ましい。</p> <p>SDGsとして一般的に使用される「持続可能な開発(Sustainable Development)」と本専攻が定義する「サステナビリティ」について明確にするとともに、社会が混同しないよう適切に周知し、設置計画を着実に履行すること。</p> <p>講義を全て英語で実施するなど、主要な教育媒介言語を英語としているため、シラバス等についても英語で作成するなど、設置の趣旨・目的等が生かされるよう努めることが望ましい。</p>	<p>遵守事項</p> <p>総合国際学研究科 世界言語社会専攻(D) (△3)</p> <p>※大学院設置基準第14条特例の実施 ※東京農工大学大学院及び電気通信大学大学院との共同教育課程</p> <p>助言事項</p> <p>助言事項</p> <p>助言事項</p> <p>遵守事項</p> <p>助言事項</p>

区分	No	大学院名	研究科・専攻等名	入学定員	位置	設置者	附帯事項	備考
	3	東京農工大学大学院	工学府 共同サステイナビリティ研究専攻(D)	4	東京都府中市	国立大学法人 東京農工大学	<p>本専攻が目指す「理解」、「分析」、「実装」という連動した研究教育の観点について、具体的に何を指すのか定義の上、イメージ図も含め誤解を与えないよう適切に社会や学生等に伝わるよう周知すること。</p> <p>設置の趣旨・目的等を踏まえた教育課程、教育方法、研究指導等の具体的な内容について、適切に社会や学生に対して周知することが望ましい。</p> <p>「学内実践実習」の受講要件として、「インターンシップの候補先の機関・企業に行けない社会人学生」としていることから、「学外実践実習」及び「学内実践実習」のそれぞれの履修対象者の要件を明確にするとともに、「学内実践実習」履修者の認定プロセスを含め学生に誤解のないようシラバス等で適切に周知することが望ましい。</p> <p>「学外実践実習」の到達目標に掲げる「実社会に通用する、普遍的かつ実践的知識を基盤とする国際的センス、国際通用性のある実践的理論・スキルやコミュニケーション力を向上させ、実践できる」能力については、「学内実践実習」においても担保されていることが明確になるよう、シラバスにおいて明記することが望ましい。</p> <p>SDGsとして一般的に使用される「持続可能な開発（Sustainable Development）」と本専攻が定義する「サステイナビリティ」について明確にするとともに、社会が混同しないよう適切に周知し、設置計画を着実に履行すること。</p> <p>講義を全て英語で実施するなど、主要な教育媒介言語を英語としているため、シラバス等についても英語で作成するなど、設置の趣旨・目的等が生かされるよう努めることが望ましい。</p>	<p>遵守事項</p> <p>工学府 電子情報工学専攻(D) (△4)</p> <p>※大学院設置基準第14条特例の実施 ※東京外国語大学大学院及び電気通信大学大学院との共同教育課程</p> <p>助言事項</p> <p>助言事項</p> <p>助言事項</p> <p>遵守事項</p> <p>助言事項</p>
	4	電気通信大学大学院	情報理工学研究科 共同サステイナビリティ研究専攻(D)	4	東京都調布市	国立大学法人 電気通信大学	<p>本専攻が目指す「理解」、「分析」、「実装」という連動した研究教育の観点について、具体的に何を指すのか定義の上、イメージ図も含め誤解を与えないよう適切に社会や学生等に伝わるよう周知すること。</p> <p>設置の趣旨・目的等を踏まえた教育課程、教育方法、研究指導等の具体的な内容について、適切に社会や学生に対して周知することが望ましい。</p> <p>「学内実践実習」の受講要件として、「インターンシップの候補先の機関・企業に行けない社会人学生」としていることから、「学外実践実習」及び「学内実践実習」のそれぞれの履修対象者の要件を明確にするとともに、「学内実践実習」履修者の認定プロセスを含め学生に誤解のないようシラバス等で適切に周知することが望ましい。</p>	<p>遵守事項</p> <p>情報理工学研究科 情報学専攻(D) (△1) 情報・ネットワーク工学専攻(D) (△1) 機械知能システム学専攻(D) (△1) 基盤理工学専攻(D) (△1)</p> <p>※大学院設置基準第14条特例の実施 ※東京外国語大学大学院及び東京農工大学大学院との共同教育課程</p> <p>助言事項</p> <p>助言事項</p>

区分	No	大学名	学部・学科等名	入学定員	位置	設置者	附帯事項	備考	
		(電気通信大学大学院)		人			<p>「学外実践実習」の到達目標に掲げる「実社会に通用する、普遍的かつ実践的知識を基盤とする国際的センス、国際通用性のある実践的理論・スキルやコミュニケーション力を向上させ、実践できる」能力については、「学内実践実習」においても担保されていることが明確になるよう、シラバスにおいて明記することが望ましい。</p> <p>SDGsとして一般的に使用される「持続可能な開発 (Sustainable Development)」と本専攻が定義する「サステイナビリティ」について明確にするとともに、社会が混同しないよう適切に周知し、設置計画を着実に履行すること。</p> <p>講義を全て英語で実施するなど、主要な教育媒介言語を英語としているため、シラバス等についても英語で作成するなど、設置の趣旨・目的等が生かされるよう努めることが望ましい。</p>	<p>助言事項</p> <p>遵守事項</p> <p>助言事項</p>	